



版番号
2.0

改訂日:
2025/12/18

整理番号:
100000001236

前回改訂日: 2023/10/17
初回作成日: 2023/10/17

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : SikaGard®-6060 S

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : シーカ・ジャパン株式会社
〒107-0051
東京都港区元赤坂1-2-7 赤坂Kタワー7F

電話番号 : 03-6434-7291

電子メールアドレス : EHS@jp.sika.com

FAX番号 : -

緊急連絡電話番号 : -

推奨用途及び使用上の制限

適用 : 表面保護

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

エアゾール : 区分 1

皮膚腐食性/刺激性 : 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 2A

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分 2 (腎臓, 循環器系)

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分 3 (気道刺激性, 麻酔作用)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分 1 (神経系)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分 2 (中枢神経系)

水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分 3



版番号
2.0

改訂日:
2025/12/18

整理番号:
100000001236

前回改訂日: 2023/10/17
初回作成日: 2023/10/17

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

: H222 極めて可燃性の高いエアゾール。
H229 高压容器：熱すると破裂のおそれ。
H315 皮膚刺激。
H319 強い眼刺激。
H335 呼吸器への刺激のおそれ。
H336 眠気又はめまいのおそれ。
H371 臓器（腎臓、循環器系）の障害のおそれ。
H372 長期にわたる、又は反復暴露による臓器（神経系）の障害。
H373 長期にわたる、又は反復ばく露により臓器（中枢神経系）の障害のおそれ。
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き

: **安全対策:**
P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P211 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。
P251 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
P260 粉じん／ミストを吸入しないこと。
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。
応急措置:
P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
P304 + P340 + P312 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。
P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受け



版番号
2.0

改訂日:
2025/12/18

整理番号:
100000001236

前回改訂日: 2023/10/17
初回作成日: 2023/10/17

ること。
P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯
をすること。

保管:

P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉して
おくこと。

P405 施錠して保管すること。

P410 + P412 日光から遮断し、40 °C以上の温度にばく露しな
いこと。

廃棄:

P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
2-ブタノン	78-93-3	16.5	2-542
naphtha (petroleum), hydrotreated light	64742-49-0	>= 15 - < 25	-
プロパン	74-98-6	>= 10 - < 20	2-3
2-メチルプロパン	75-28-5	>= 1 - < 10	2-4
n-ブタン	106-97-8	>= 1 - < 10	2-4
Naphtha (petroleum), hydrotreated heavy	64742-48-9	>= 1 - < 10	-
solvent naphtha (petroleum), light arom.	64742-95-6	>= 1 - < 10	-

4. 応急措置

一般的アドバイス : 危険域から避難させる。
医師に相談する。
この安全データシートを担当医に見せる。



版番号 2.0	改訂日: 2025/12/18	整理番号: 100000001236	前回改訂日: 2023/10/17 初回作成日: 2023/10/17
------------	--------------------	-----------------------	--

-
- | | |
|-----------------------|--|
| 吸入した場合 | : 新鮮な空気のある場所に移動する。 |
| 皮膚に付着した場合 | : 直ちに汚染された衣服と靴を脱ぐ。
石けんと多量の水で洗い流す。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。 |
| 眼に入った場合 | : 直ちに、眼を十分な流水で、勢いよく洗い流す。
コンタクトレンズをはずす。
洗浄中は眼を大きく開ける。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。 |
| 飲み込んだ場合 | : 口を水で洗浄し、その後多量の水を飲む。
ミルクやアルコール飲料を与えない。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。 |
| 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 | : 刺激性影響
過剰な涙の発生
平衡感覚障害
めまい
健康影響と症状のより詳細な情報はセクション 11 を参照ください。
皮膚刺激。
強い眼刺激。
呼吸器への刺激のおそれ。
眠気又はめまいのおそれ。
臓器の障害のおそれ。
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。 |
| 医師に対する特別な注意事項 | : 症状に応じた治療を行う。 |

5. 火災時の措置

- | | |
|-------------|---|
| 適切な消火剤 | : ウォータージェットスプレー
粉末
泡
二酸化炭素 (CO2) |
| 使ってはならない消火剤 | : 大型棒状の水 |
| 有害燃焼副産物 | : 有害燃焼生成物は知られていない。 |
| 特有の消火方法 | : 未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。 |
| 消火を行う者の保護 | : 火災時には、自給式呼吸器を着用する。 |

6. 漏出時の措置



版番号
2.0

改訂日:
2025/12/18

整理番号:
100000001236

前回改訂日: 2023/10/17
初回作成日: 2023/10/17

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 保護具を使用する。
保護具を着用せずに立ち入ることを禁ずる。
- 環境に対する注意事項 : 河川または下水システムに排水しない。
製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 火災及び爆発の予防 : 防爆型の機器を使用すること。
熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－ 禁煙。
火炎や白熱物質に向けてスプレーしてはいけない。
静電気防止対策を講じる。

- 安全取扱注意事項 : 蒸気やスプレーミストを吸い込まない。
指定された職業暴露限界を超えないようにする（項目 8 を参照）。
眼、皮膚、衣類につけないこと。
個人保護については項目 8 を参照する。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
内部が陽圧になっていることがあるので、ふたを開ける場合には、慎重に行う。
静電気放電（有機物の蒸気を発火させる場合あり）を防止するために必要な処置をとる。
化学製品を取扱う場合は衛生措置の基準に従う。

- 接触回避 : データなし

- 衛生対策 : 十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。
使用中は飲食しないこと。
使用中は禁煙。
休憩前や終業時には手を洗う。

保管

- 安全な保管条件 : 注意：エアゾールには圧力が加えられているので、直射日光にさらしたり、周囲の気温が 50 度以上にならないようにする。力で開けたり、使用後も火の中に投げ入れたりしない。
納品時の容器でのみ保管する。
換気のよい場所で保管する。
ラベルの予防措置を遵守する。
地域の規則に従って保管すること。



版番号
2.0

改訂日:
2025/12/18

整理番号:
100000001236

前回改訂日: 2023/10/17
初回作成日: 2023/10/17

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 濃度基準値 / 許容濃度	出典
2-ブタノン	78-93-3	ACL	200 ppm	安衛法 (管理濃度)
		OEL-M	75 ppm 221 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 第3群: ヒトに対する生殖毒性の疑いがある物質, 経皮吸収			
		TWA	75 ppm	ACGIH
		STEL	150 ppm	ACGIH
2-メチルプロパン	75-28-5	OEL-M	500 ppm 1,200 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		STEL	1,000 ppm	ACGIH
n-ブタン	106-97-8	OEL-M	500 ppm 1,200 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		STEL	1,000 ppm	ACGIH

生物学的職業暴露限度

成分	CAS 番号	対象物質	生物学的試料	試料採取時期	許容濃度	出典
2-ブタノン	78-93-3	メチルエチルケトン	尿	作業終了時または高濃度曝露後数時間以内	5 mg/l	日本産業衛生学会
		MEK	尿	シフト終了時 (曝露停止後できるだけ早く)	2 mg/l	ACGIH BEI

保護具

呼吸用保護具

- : 適切な局所排気装置がない場合、あるいは、暴露評価によって、暴露量が推奨暴露ガイドライン以下であることが証明されない限り、呼吸用保護具を着用すること。
マスク用のフィルターのクラスは、物質を扱っているときに発生する可能性のある最高予測汚染物質濃度 (ガス/蒸気/エアゾール/粒子) に適したものでなければならない。

版番号
2.0改訂日:
2025/12/18整理番号:
100000001236前回改訂日: 2023/10/17
初回作成日: 2023/10/17

-
- 手の保護具 : リスク評価によって必要とされる場合は、化学製品の取扱いの際、適合している化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
- 眼の保護具 : リスク評価によって必要とされる場合は、適合している保護眼鏡を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 適した身体防具を選ぶには、そのタイプ、危険物質の濃度や量そして特定の作業場を考慮する。
-

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : エアゾール
- 色 : 黒色
- 臭い : 溶剤臭
- 臭いのしきい(閾)値 : データなし
- 融点/ 範囲/ 凝固点 : データなし
- 沸点/ 沸騰範囲 : データなし
- 可燃性 (固体、気体) : 自然引火性ではない。
- 爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界
爆発範囲の上限 / 可燃上限 : 11.5 % (V)
値
- 爆発範囲の下限 / 可燃下限 : 0.6 % (V)
値
- 引火点 : 約 0 - C
(方法: 密閉式引火点試験)
- 分解温度 : データなし
- pH : 非該当 物質/混合物は (水に) 溶けない
- 蒸発速度 : データなし
- 自然発火温度 : > 200 - C
- 粘度
粘度(粘性率) : 不定



版番号
2.0

改訂日:
2025/12/18

整理番号:
100000001236

前回改訂日: 2023/10/17
初回作成日: 2023/10/17

動粘度（動粘性率）	:	不定
溶解度		
水溶性	:	不溶
溶媒に対する溶解性	:	データなし
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	:	データなし
蒸気圧	:	約 8,300 hPa (20 - C)
密度及び／又は相対密度		
密度	:	0.76 g/cm ³ (20 - C)
相対ガス密度	:	データなし
爆発特性	:	データなし
酸化特性	:	データなし
粒子特性		
粒子サイズ	:	非該当

10. 安定性及び反応性

反応性	:	通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
化学的安定性	:	製品は化学的に安定である。
危険有害反応可能性	:	推奨保管条件下では安定。
避けるべき条件	:	熱、炎、火花。
混触危険物質	:	データなし
危険有害な分解生成物	:	危険有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

急性毒性

データが不足しているため分類されていない。

成分:

2-ブタノン:



版番号
2.0

改訂日:
2025/12/18

整理番号:
100000001236

前回改訂日: 2023/10/17
初回作成日: 2023/10/17

急性毒性（経口） : LD50 経口 (ラット): 3,300 mg/kg
急性毒性（吸入） : LC50 (ラット): 36 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 蒸気
急性毒性（経皮） : LD50 経皮 (ウサギ): > 5,000 mg/kg

naphtha (petroleum), hydrotreated light:

急性毒性（経口） : LD50 経口 (ラット): > 5,000 mg/kg
急性毒性（吸入） : LC50 (ラット): > 23.3 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 蒸気
急性毒性（経皮） : LD50 経皮 (ウサギ): > 2,800 mg/kg

Naphtha (petroleum), hydrotreated heavy:

急性毒性（経口） : LD50 経口 (ラット): > 5,000 mg/kg
急性毒性（吸入） : LC50 (ラット): 4,951 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 蒸気
急性毒性（経皮） : LD50 経皮 (ウサギ): > 5,000 mg/kg

solvent naphtha (petroleum), light arom.:

急性毒性（経口） : LD50 経口 (ラット): > 2,000 mg/kg
急性毒性（経皮） : LD50 経皮 (ウサギ): > 2,000 mg/kg

皮膚腐食性／刺激性

皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

強い眼刺激。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

データが不足しているので分類されていない。

呼吸器感作性

データが不足しているので分類されていない。



版番号
2.0

改訂日:
2025/12/18

整理番号:
100000001236

前回改訂日: 2023/10/17
初回作成日: 2023/10/17

生殖細胞変異原性

データが不足しているので分類されていない。

発がん性

データが不足しているので分類されていない。

生殖毒性

データが不足しているので分類されていない。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

呼吸器への刺激のおそれ。

眠気又はめまいのおそれ。

臓器（腎臓、循環器系）の障害のおそれ。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

長期にわたる、又は反復暴露による臓器（神経系）の障害。

長期にわたる、又は反復ばく露により臓器（中枢神経系）の障害のおそれ。

誤えん有害性

データが不足しているので分類されていない。

12. 環境影響情報

生態毒性

成分:

naphtha (petroleum), hydrotreated light:

魚毒性 : LL50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): > 13.4 mg/l
曝露時間: 96 h

solvent naphtha (petroleum), light arom.:

藻類／水生生物に対する毒性 : (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 2.6 - 2.9 mg/l
曝露時間: 72 h

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

製品:



版番号
2.0

改訂日:
2025/12/18

整理番号:
100000001236

前回改訂日: 2023/10/17
初回作成日: 2023/10/17

生態系に関する追加情報 : 職業上の規則に反した取り扱い、処理が行われた場合は、環境に及ぼす危険性を除外して考えることはできない。
長期継続的影響によって水生生物に有害。

地球温暖化係数

気候変動に関する国際連合枠組条約 (UNFCCC) の国連気候変動 (IPCC) に関する政府間パネルの年次評価報告書

成分:

プロパン:

20 年地球温暖化係数: 0.072
100 年地球温暖化係数: 0.02
500 年地球温暖化係数: 0.006
大気寿命: 0.036 年
放射効率: 0 Wm²ppb
詳細情報: その他の化合物

n-ブタン:

20 年地球温暖化係数: 0.022
100 年地球温暖化係数: 0.006
500 年地球温暖化係数: 0.002
大気寿命: 0.019 年
放射効率: 0 Wm²ppb
詳細情報: その他の化合物

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 : 認可された廃棄物処理業者へ委託する。
本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。

汚染容器及び包装

: 残りの容器を空にする
製品入り容器と同様に処分する。
空の容器を再使用しない。
空のドラムを燃やしたり、切断トーチを使用しないこと

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (UNRTDG)

版番号
2.0改訂日:
2025/12/18整理番号:
100000001236前回改訂日: 2023/10/17
初回作成日: 2023/10/17

国連番号 (UN number) : UN 1950
国連輸送名 (Proper shipping name) : AEROSOLS
国連分類 (Class) : 2.1
容器等級 (Packing group) : 規制による割り当て無し
ラベル (Labels) : 2.1
環境有害性 : 非該当

航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number) : UN 1950
国連輸送名 (Proper shipping name) : Aerosols, flammable
国連分類 (Class) : 2.1
容器等級 (Packing group) : 規制による割り当て無し
ラベル (Labels) : Flammable Gas
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 203
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft)) : 203

海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 (UN number) : UN 1950
国連輸送名 (Proper shipping name) : AEROSOLS
国連分類 (Class) : 2.1
容器等級 (Packing group) : 規制による割り当て無し
ラベル (Labels) : 2.1
EmS コード (EmS Code) : F-D, S-U
海洋汚染物質 (該当・非該当) (Marine pollutant) : 非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)

供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのために、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

緊急時応急措置指針番号 : 126



版番号
2.0

改訂日:
2025/12/18

整理番号:
100000001236

前回改訂日: 2023/10/17
初回作成日: 2023/10/17

15. 適用法令

関連法規

消防法

第四類, 第一石油類, 非水溶性液体, (200 リットル), 危険等級 II, (ガスを抜いた後の残留物はこの分類に相当する)

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質 (既存化学物質)

非該当

変異原性の認められた化学物質 (新規届出化学物質)

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 5 7 条の 2 (則 34 条の 2 別表 2)

化学名	含有量 (%)	備考
メチルエチルケトン	16.5	-
プロパン	>=10 - <20	2026 年 4 月 1 日以降
ブタン	>=10 - <20	-
石油ナフサ	>=1 - <10	-

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 5 7 条 (則 30 条別表 2)

化学名	備考
メチルエチルケトン	-
プロパン	2026 年 4 月 1 日以降
石油ナフサ	-
鉱油	-
ミネラルスピリット (ミネラルシンナー、ペトロリウムスピリット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む。)	-
ブタン	-
石油ナフサ	-

皮膚等障害化学物質 (労働安全衛生規則第 594 条の 2)

化学名
メチルエチルケトン



版番号
2.0

改訂日:
2025/12/18

整理番号:
100000001236

前回改訂日: 2023/10/17
初回作成日: 2023/10/17

がん原性物質（労働安全衛生規則第 577 条の 2）

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

第二種有機溶剤等

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

国際化学兵器禁止条約（CWC）の有毒化学品および前 駆体の添付文章 : 非該当

高圧ガス保安法

平成 9 年通産省告示 139 号に従い、高圧ガス保安法の適用を除外される

16. その他の情報

本 SDS において労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

ACGIH : 米国。ACGIH 限界閾値 (TLV)
 ACGIH BEI : ACGIH - 生物学的暴露指標 (BEI)
 安衛法 (管理濃度) : 作業環境評価基準、健康障害防止指針
 日本産業衛生学会 : 許容濃度等の勧告 - II. 生物学的許容値
 日本産業衛生学会 (許容濃度) : 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I. 化学物質の許容濃度

ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均
 ACGIH / STEL : 短時間暴露限界
 安衛法 (管理濃度) / ACL : 管理濃度、基準濃度
 日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-M : 許容濃度

ADR : Accord européen relatif au transport international des marchandises Dangereuses par Route

版番号
2.0改訂日:
2025/12/18整理番号:
100000001236前回改訂日: 2023/10/17
初回作成日: 2023/10/17

CAS	:	Chemical Abstracts Service
DNEL	:	Derived no-effect level
EC50	:	Half maximal effective concentration
GHS	:	Globally Harmonized System
IATA	:	International Air Transport Association
IMDG	:	International Maritime Code for Dangerous Goods
LD50	:	Median lethal dose (the amount of a material, given all at once, which causes the death of 50% (one half) of a group of test animals)
LC50	:	Median lethal concentration (concentrations of the chemical in air that kills 50% of the test animals during the observation period)
MARPOL	:	International Convention for the Prevention of Pollution from Ships, 1973 as modified by the Protocol of 1978
OEL	:	Occupational Exposure Limit
PBT	:	Persistent, bioaccumulative and toxic
PNEC	:	Predicted no effect concentration
REACH	:	Regulation (EC) No 1907/2006 of the European Parliament and of the Council of 18 December 2006 concerning the Registration, Evaluation, Authorisation and Restriction of Chemicals (REACH), establishing a European Chemicals Agency
SVHC	:	Substances of Very High Concern
vPvB	:	Very persistent and very bioaccumulative

この安全データシートに記載されている内容は、発行時における当社の最新の知識によるものですが当社はその内容につき何らの保証をなすものではありません。

保証については、当社の最新の一般販売条件が適用されます。

製品を使用または適用する前に、必ずプロダクトデータシートをご検討下さい。

JP / JA